

# 東京外かく環状道路の概要



## 全体計画

全体計画と幹線道路網図



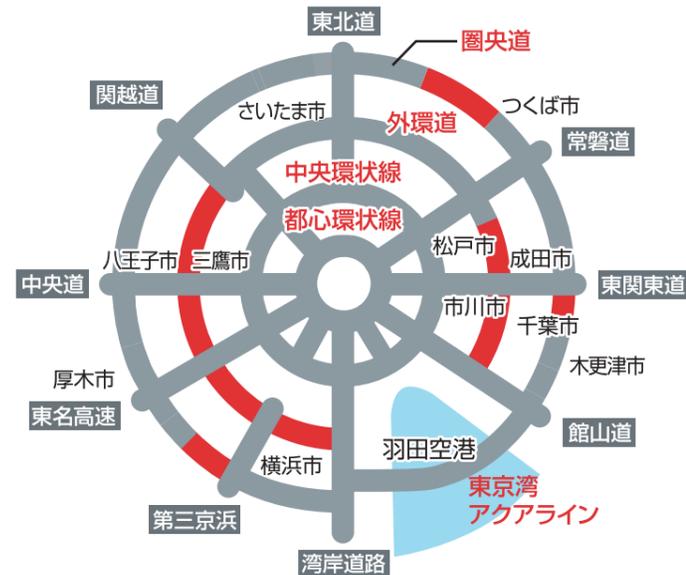
[JCT・ICは仮称・開通区間は除く]

東京外かく環状道路は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する延長約85kmの道路であり、首都圏の渋滞緩和、環境改善や円滑な交通ネットワークを実現する上で重要な道路です。

現在までに「自動車専用部(高速道路)」は、関越道と連絡する大泉JCTから三郷南ICまでの約34kmが開通しています。

関越道から東名高速までの約16kmについては、平成21年5月には、整備計画が策定され、さらに平成21年度補正予算が成立したことを受けて事業化しました。また、平成24年4月には、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)に対して有料事業許可がなされ、国土交通省と共同して事業を進めていくことになりました。東名高速から湾岸道路までの約20kmについては予定路線に位置づけられています。

## 3環状9放射ネットワーク構想



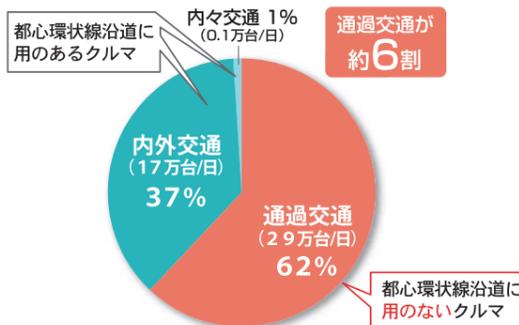
凡例  
 開通区間(2015年11月現在)  
 未開通区間



首都高速都心環状線(神田橋JCT)の状況

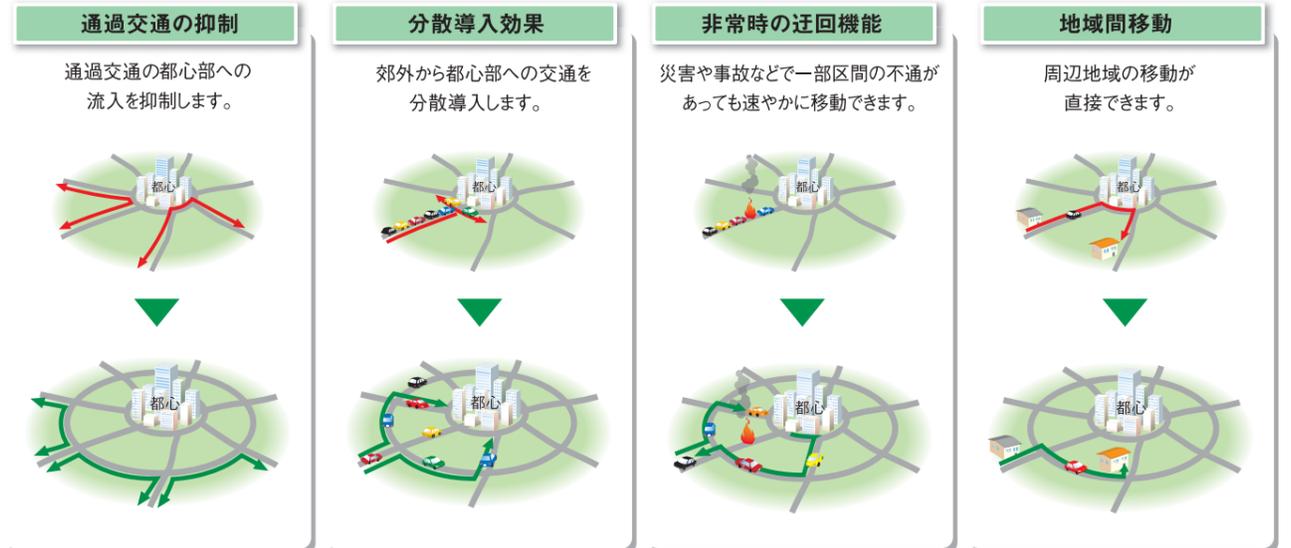
首都圏の道路交通の骨格として、1963年に3環状9放射のネットワークが計画されました。以来、東名、中央、関越、東北道など放射方向の高速道路は整備されましたが、環状方向は整備が遅れています。その結果、都心に用いない交通が都心環状線に集中し、慢性的な渋滞が発生しています。3環状道路が整備されれば、この都心を通過するだけの交通を迂回させ、都心の渋滞解消が期待されます。

### 都心環状線を利用する交通の内訳



## 環状道路の機能・効果

環状道路には、様々な整備効果が期待できます。



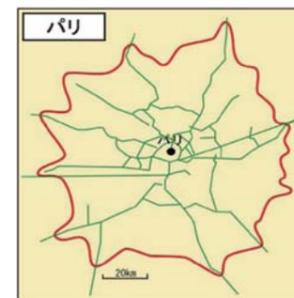
## 主要都市の1時間アクセス圏

都市の中心部から1時間で移動できるエリアを見ると、欧米の主要な都市では東京の面積の約2倍となっています。

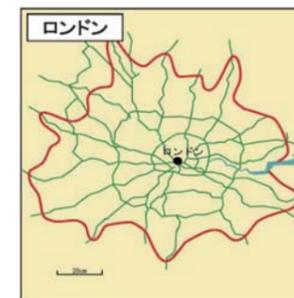


1時間圏面積 約4,200 km<sup>2</sup>  
 東京との比 1

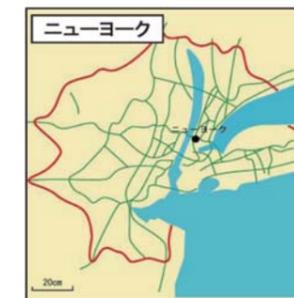
※青線は、混雑時の1時間アクセス圏(H22センサデータ)より  
 <混雑時の1時間圏面積:約1,700 km<sup>2</sup>>



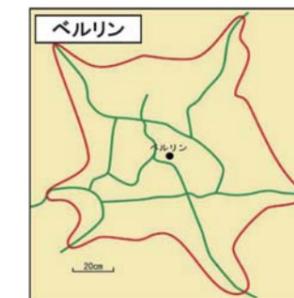
1時間圏面積 約9,100 km<sup>2</sup>  
 東京との比 2.2



1時間圏面積 約7,800 km<sup>2</sup>  
 東京との比 1.9



1時間圏面積 約9,300 km<sup>2</sup>  
 東京との比 2.2



1時間圏面積 約9,900 km<sup>2</sup>  
 東京との比 2.4

・市庁舎を中心とした所要時間をgoogle経路検索により算出  
 ・海水面の面積は含まない  
 ・各国の地図は同縮尺  
 ・出典:国土交通省HP「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(データ集)」より